

SIM5320 シリーズ、通信プロトコール MQTT 対応ファームのリリースのお知らせ

キャセイ・トライテック株式会社（代表取締役社長 中原 隆志）は、取扱製品である SIMCOM 社 3G 通信モジュール SIM5320J/JE の通信プロトコール、「MQTT」(Message Queueing Telemetry Transport) 対応日本版ファームの開発が終了しましたのでリリース致します。MQTT 対応ファームの製品出荷に関しては、2016 年 1 月出荷分より順次出荷を開始致します。

MQTT(Message Queueing Telemetry Transport)とは、publish/subscribe モデルに基づく軽量なメッセージプロトコールです。ネットワークが不安定な場所にて動作するための機能や非力なデバイスで動くための軽量化などが特徴として挙げられます。

MQTT の「Message Queueing」とは、送信側データをデータ領域に一旦保持しながら、受信側の処理が完了するのを待たずに次の処理へ移る方式で、「Telemetry Transport」とは遠隔測定用の通信を意味し、遠隔にあるセンサーやデバイスなどが収集したデータを、受信側の処理状況を気にせず効率よく送信することができるプロトコールを指します。

MQTT の特徴は、双方向(1×n)の通信が可能、プロトコールヘッダがシンプル設計、トラフィックは、HTTP に比べると 1/10 となりますので、通信量、CPU 負荷、電力消費量などを、約 1/10 に抑えることが可能です。

実用事例としては、センサーからのデータ収集 /メッセージサービス (Facebook Messenger)/車とスマホの情報同期などで活用されており、軽量な点と同期通信可能な点を生かして、リアルタイム通信が必要な用途に適しています。

SIM5320J/JE は MQTT プロトコールを内部で実装して、IoT ユーザーはプロトコールの細かいやり取りを意識せず、受信したい (SUB)Topic、或いは発信したメッセージ (Topic/Message) を AT Command で SIM5320J/JE に送ることで、簡単に機能を実現できます。

本件についてのお問い合わせは、弊社営業本部もしくは技術本部までお問合せください。